

コアジサシ チドリ目カモメ科
Sterna albifrons Pallas, 1764

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類(CR + EN)

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)



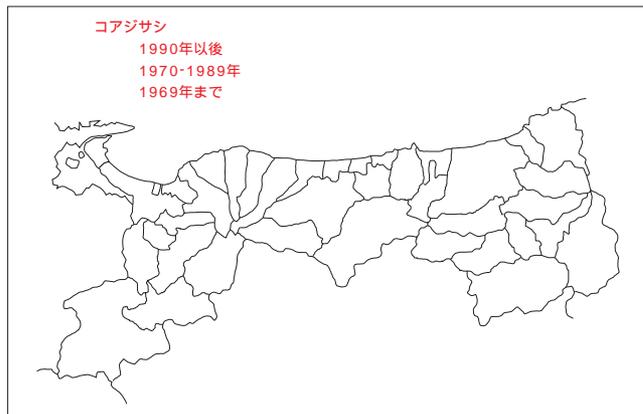
撮影：細谷賢明

選定理由：営巣に適した場所への人間（釣り人など）の立ち入りで、近年繁殖数が激減し、個体数が減っている。

形態と生態：全長25cm程度。雌雄同色。夏鳥として県内で繁殖する。群れで行動することが多く、海岸や河原に集団で営巣する。

分布(県内)：日野川下流域，天神川河口付近の砂浜，中州で営巣する。以前は千代川河口付近でも多数の繁殖が確認されたが、近年は見られない。

分布(県外)：日本では本州以南で繁殖。ヨーロッパ，アフリカ，アジア，オセアニア，北アメリカ中部から南アメリカ北部で繁殖。冬季は熱帯域で過ごす。



生息環境：湖沼や比較的大きい水系の河口の砂州，河原など。営巣は，おもに捕食者の近づきにくい小島や中州などの砂地。

保護上の留意点：繁殖適地の保護および繁殖期における立入制限等の対応が必要である。

文献：
細谷賢明(1993)コアジサシ. pp. 50-51. In: 鳥取県のすぐれた自然(動物).

田村昭夫(1993)加勢蛇川河口域の野鳥. 郷土と博物館(鳥取県立博物館) 39(1): 1-6.

執筆：吉田良平